

2024（令和6）年度版函館市環境白書（案）への

事前意見に対する回答

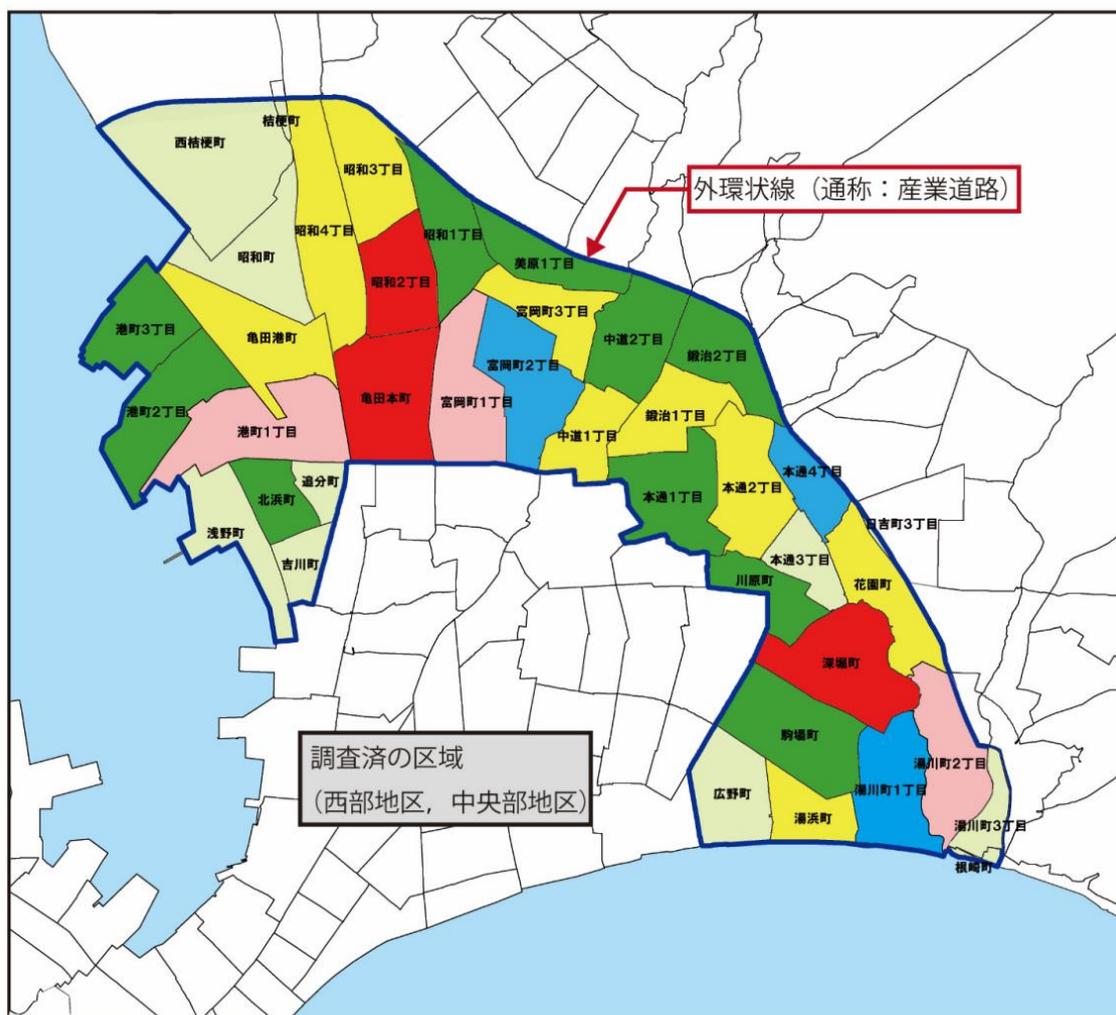
NO	意見内容	回答部課	頁
1	【石樽委員】		
①	管理不全な空家数の推移	環境政策課	1～ 2
②	水環境の保全	環境政策課	3

白書 頁	P 2 5	回答部課	環境政策課
No.1-①	<p>管理不全な空家数の推移</p> <p>R5年度の空家数がR4までと比べて増加率が高くなっているようです。こちらは何か理由が特定できておりましたら、ご教示頂くことは可能でしょうか？</p> <p>高齢化が進みつつあるところかと思いますが、増加が加速しているように見えますので質問させていただきます。</p>		

○ 地域に悪影響を及ぼしている空家等について、市民からの相談や情報提供があった場合、市では現地調査を行い、その物件が空家等かどうかの確認をしますが、「第3期函館市空家等対策計画」の策定に向けて、空家等対策の取組に必要な基礎資料とするため、別紙の地区について、現地調査を実施したことから空家数が前年度までに比べ増加しています。

○ また、ご指摘を踏まえ、P 2 5 ウ 空家・空地対策を下記のとおり修正します。

「本市において、適切な管理が行われず放置されている管理不全な空家の数は、毎年度100棟程度が除去されますが、約120棟の新たな空家が発生しており、2023（令和5）年度末は2,029棟となっています。なお、2023（令和5）年度は、すでに調査済みの西部地区および中央部地区を除く外環状線（通称：産業道路）内側に位置する残り39町の現地調査を新たに実施した結果、これまで把握できていなかった空家が把握できたことにより、空家数が前年度までに比べ増加しました。適切な管理が行われていない空家については、安全で安心して暮らすことができる生活環境を保全するため、空家の除却費用への補助などにより、老朽化した空家の解消などに取り組んでいます。」



凡例：令和5年度 調査範囲



凡例：空家等の棟数



白書 頁	P 2 8	回答部課	環境政策課
No.1-②	<p>水環境の保全</p> <p>海域に関する経年変化の記載がありますが、昨年度のイワシ等の打ち上げの問題やその事後対応、原因の解明や予防に向けた活動などがあれば記載した方がよいのではと思いますが、いかがでしょうか？</p> <p>函館市民が気になっているところかと思いますが、もし本白書の範囲外等ございましたら、ご教示いただければ幸いです。</p>		

- 2023(令和5)年 12 月 7 日に戸井地区浜町の海岸に大量のイワシが漂着していることが判明し、同日から海岸管理者である北海道と連携し、職員等の手作業や委託業者の重機等により漂着したイワシを回収し、焼却処分や埋立処分をしました。
- また、原因の解明につきましては、海水温の変化やイルカやマグロなど捕食者に追われ浅瀬に追い詰められた結果、酸欠になり漂着したことなどが想定されますが、特定することは、なかなか難しいと考えています。なお、予防に向けた活動につきましては、本件に特化した活動は実施していないところでございます。
- 以上のことから、P 1 4 ウ 海岸漂着物への対応を下記のとおり修正します。

「海岸や漁港などの各管理者などと連携を図り、回収された海岸漂着物を廃棄物処理施設に受け入れて処分するなどの的確に対応しています。

また、2023(令和5)年 12 月に、戸井地区浜町の海岸に漂着した大量のイワシについては、海岸管理者である北海道と連携のうえ回収し、焼却処分や埋立処分をしました。」